

空間オミクス GeoMx® DSP 受託解析サービス

BRUKER Spatial Biology Digital Spatial Profiler による

高精度な空間オミクス解析をワンストップで提供

解析元:株式会社 iLAC <https://www.i-lac.co.jp/>

組織の「空間」を読み解く、次世代の解析ソリューション。単なる発現量データではなく、組織構造に基づいた形態学的情報を維持したまま、ターゲット分子（RNA/タンパク質）をデジタル定量します。

(裏面に価格およびキャンペーン情報記載)

GeoMx® DSP の主要な特徴

圧倒的な多重解析能力

RNA は全トランスクリプトーム (20,000+遺伝子)、タンパク質は最大 570 種類以上の同時検出に対応。一細胞レベルに迫る高解像度データを取得可能。

形態情報の完全な維持

蛍光染色画像に基づき、特定の細胞集団や微小環境（腫瘍領域・間質領域・免疫細胞浸潤部など）を自由かつ正確に狙い撃ちして解析。

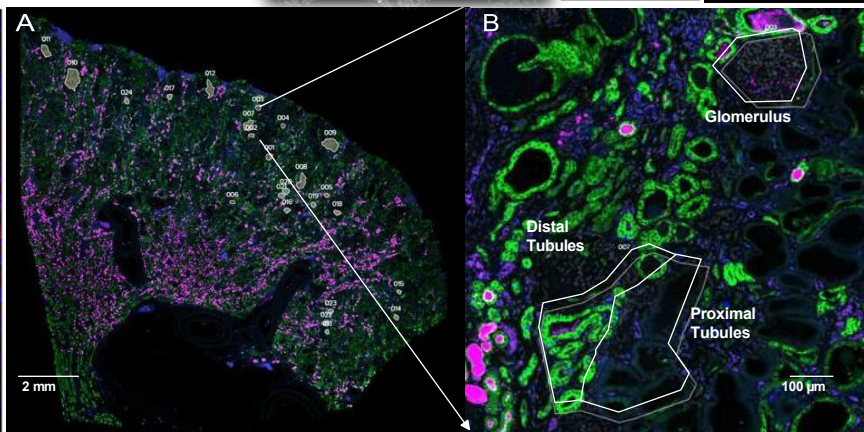
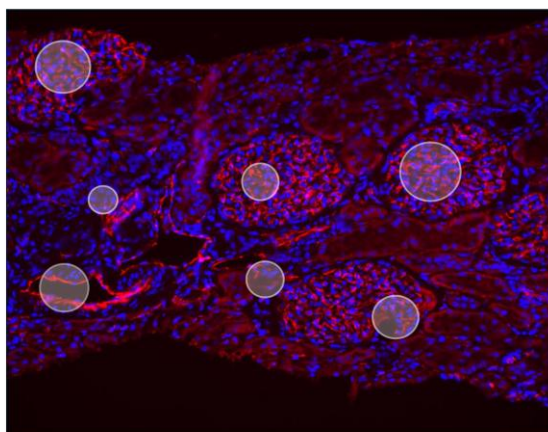
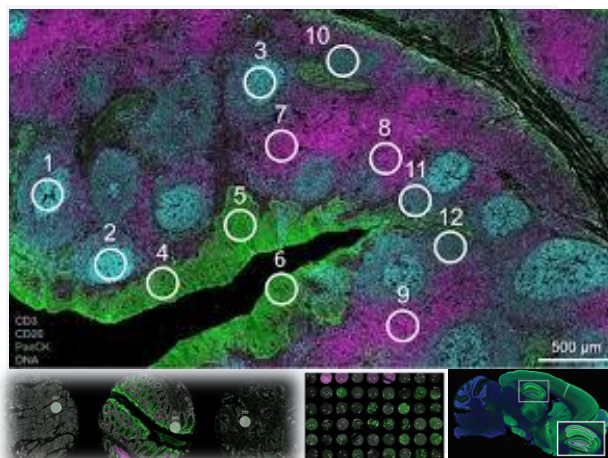
臨床 FFPE 検体への適応

アーカイブされた古い FFPE（ホルマリン固定パラフィン包埋）切片や貴重なバイオプシーサンプルからでも、高品質なデータを非破壊的に回収。

技術原理と柔軟な ROI（関心領域）の選択手法

独自の「光切断タグ技術」による高精度定量

- 1. 蛍光染色による可視化:** 最大 4 色の蛍光マーカーを用いて、顕微鏡下で組織構造や細胞表現型を正確に同定・確認します。
- 2. ターゲットの選択 (ROI) :** Geometric（幾何学的領域指定）、Segmentation（特定の蛍光陽性/陰性細胞の切り分け）、Contour（グラデーション境界）など柔軟なプロファイリングが可能。
- 3. UV 照射とデジタル計測:** 選択したエリアにのみ紫外線 (UV) を照射し、プローブからバーコードタグを非破壊的に回収。NGS（次世代シーケンサー）等でデジタルカウントします。



東和科学株式会社

where science is leading you

GeoMx® DSP 受託解析サービス仕様 & ワークフロー

■ 提供パネル・ターゲット概要

主要パネル名	ターゲット数	特徴・主な用途
Whole Transcriptome Atlas (WTA) 1,950,000 円 (税別) ~/スライド 1,750,000 円 (税別) ~/スライド (先着 4 スライド分限定価格)	18000~20,000+ 遺伝子 キャンペーン価格	ヒト・マウスのほぼ全遺伝子を網羅。シグナルパスウェイ解析やバイオマーカーの探索に。 指定エリア内に複数の検体が載せられます。 
Immune Pathways & IO Panel 1,950,000 円 (税別) ~/スライド 1,560,000 円 (税別) ~/スライド (先着 4 スライド分限定価格)	570 種類+ タンパク キャンペーン価格	免疫チェックポイント、細胞表面マーカー、主要シグナルタンパク質を空間的プロファイリング。

■ 受託解析の標準ワークフロー

Step 01	Step 02	Step 03	Step 04
事前コンサルティング 研究目的、検体状態 (FFPE/凍結)、ご希望パネルについてお打ち合わせを行い、最適な実験デザイン・ROI 配置をご提案します。	サンプル送付 組織ブロック、または指定のスライドガラスに貼付した切片サンプルを弊社解析センターまでご送付いただきます。	実験・解析実施 品質チェック後、組織染色条件検討試験、スキャン、ROI 選択、UV 切断、タグ回収、ライブラリ調製、次世代シーケンス (NGS) まで一括実施。	データ納品・サポート 標準データ (発現量マトリクス、QC レポート)

■ 主な解析実績：東京大学医学部附属病院、北海道大学医学部、東北大学医学部、筑波大学医学部、弘前大学医学部、慈恵会医科大学、自治医科大学、埼玉医科大学、国際医療研究センター他

お問い合わせ・お見積りはこちら

研究目的やお手持ちのサンプル数に合わせた最適なプランを専門スタッフが個別にご提案いたします。



【社名・受託解析窓口】 東和科学株式会社 事業戦略推進部 担当：市川
 【E-mail】 ichikawa@towa-sci.co.jp 【TEL】 029-864-2541
 【Web】 <https://www.towa-sci.co.jp/contact.html>

※GeoMx®は BRUKER Spatial Biology の登録商標です。